

---

# ギター侍

hoshitou

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ギター侍

### 【Zコード】

Z2178P

### 【作者名】

hoshitou

### 【あらすじ】

人を喰らう化け物”鬼”と戦う売れなけど強いギターの武士のアクション「メディ

「また人が腕だけ残されて死んだらしいよ」

「まじかよ」

「しかもこの辺だつて話だよ」

「なにそれ！こわつ！」

話ながら通り過ぎる若者。そこに座っていた一人の武士。いや、武士と言うには格好があきらかに優しそうな売れない歌手の格好をしている。両手で弾いていたギターをケースにしまうとその武士はしゃべつてた若者の次に通り過ぎた者、決して人ではないその獣のような姿の者を追うように武士は歩きだした。

ほかの人はこの獣をみても動じない様子ですれ違つてていく。いや動じてないんじゃなく見えていないだけなのだ。この獣は前を歩く若者にヨダレを垂らしながらついていく。

「でさあ」

「ははは！ん？雨かなあ？」

「あ、ほんとだ雨だ、あれなんか臭くない？この雨」

「ん？わ……」

「え？どうしたの？うわああ！」 そう言いながら一人の若者は遠くに逃げていった。

「あ！おい！たすけ！て！うわ！」 取り残された若者はその獣に捕まりもがいていた。もがくうちに若者は一人の人間の姿を見た。それは侍のような構えをしていて、しかし侍とは全然違う格好をした男であつた。その男は刀のように構えたギターを少し低くすると、その姿は消え、代わりに若者は地面に落ちていた

幻夜 上(後書き)

まだ名前がでませんね  
ごめんなさい  
初心者なので

「うわあああ！…ってあれ？」

きさずいたら俺は一人の侍、いやギタリストに抱えられていた。

「大丈夫でござるか？」

× × × ×

「やつらは”鬼”と呼ばれ、人を喰らい、人間と一緒に生活するもの。とでも言つておくでござるか」

「鬼、か、いや、までよ俺たちはその鬼つて奴と生活をともにしているのか？」

「つむ、そんなどこでござるな。しかし、奴等は普通の人間にはみえないでござる。奴等がみえるようになるには一回奴等をみるか、もう一つこの拙者がもつてこいるギター。いや、正確的には鬼音器、餓神線と呼ばれているでござる。この餓神線のように鬼音器と呼ばれる唯一鬼と戦える」とのできる武器があれば鬼がみえるでござる

「えー？ つてことは俺は奴等がもうみえるつてことか！？」

「まじかよ！ 俺喰われたりするのか！？」

「大丈夫だ。その時のために秘策はよついした。」

「まじで！…それはどんな方法だ！？ってか口調変えてまでかつこ  
つかよひとするのやめろー！」

「まあまあ、そんな焦るなつてえ田那ア」

「こりこり口調変えるなー！」

名前でねえ！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2178p/>

---

ギター侍

2010年12月2日17時23分発行